

＜シンポジウムのご案内＞

人々の学びをどのようにとらえるか

－日本・英国の実践と理論の検討を通して－

英国から3人のゲストをお迎えして、成人教育／継続教育／社会教育における人びとの学びとそれを支える大学・地域の取り組みについて検討します。英国からは、ロンドン大学における継続学習の歴史と現在、成人教育にかかわる民間団体「スワスマア教育センター」の現状と、困難を抱える人々の書くこと creative writing を通じた学習活動について報告していただきます。日本からは、「共同学習」「生活記録」「生活史学習」等の歴史的検討および社会教育・生涯学習の現代的再検討について報告します。関心のある皆様のご参加をお待ちしております。

日時：11月27（月）10時～17時

会場：北海道大学・教育学部会議室（3階）

- 10:00 開会 司会：武田るい子（清泉女学院短期大学教授）
- 10:10 第一セッション
- 報告1 生活をとらえ、綴り、表現する学習の現代的再検討
－共同学習・生活記録学習・生活史学習・市民運動学習の教育学的再検討－
姉崎洋一（北海道大学名誉教授）
- 報告2 Recent Theory and Practices in Adult and Continuing Learning in the UK
ミリアム・ズーカス（ロンドン大学・パークベック・カレッジ教授/学部長）
- コメント 鈴木敏正（北海道文教大学教授／北海道大学名誉教授）
- 討議
- ＜昼食・休憩＞
- 14:00 第二セッション
- 報告1 青年の学習における共同学習と生活記録：日本の1950年代の経験を中心に
辻智子（北海道大学教育学研究院准教授）
- 報告2 Historical Mission and the Development of how we offer current Learning
Activities at Swarthmore Education Center
マギー・バターワース（リーズ・スワスマア教育センター、前センター長）
- 報告3 What is Creative Writing in the Process of Learning Activity
レオノーラ・ラスタモ-ヴァ（スワスマア教育センター-講師）
- コメント 長澤成次（千葉大学名誉教授）
- 討議
- 17:00 終了

主催：「共同学習・生活史学習の教育学的再検討」
（科学研究費助成研究・代表者：姉崎洋一）
協力：北海道大学大学院教育学院生涯学習論講座